

令和3年4月14日

福大生が選ぶ おすすめ&行きたいお店マップ『もぐもぐふくしまっぷ』完成

本学行政政策学類 林嶺那ゼミは、福島市中心市街地の活性化を目指し、福大生 268 名へのアンケート調査と、ゼミ生による 13 店舗への調査をもとに、「福大生が選ぶおすすめ&行きたいお店マップ『もぐもぐふくしまっぷ』」を作成しました。QR コードや SNS の利用、女性が持ち歩く小さめのバッグにも入るサイズ感（見開き A6 サイズで 16p）など、学生が種々の工夫を施したマップとなっています。作成部数は 5000 部で、現在、市内各所やキャンパス内で配布しています。

新型コロナウイルス感染症の問題が拡大し、福島市中心市街地は経済的に大きな打撃を被っています。こうした状況を少しでも改善することはできないか。学生はこの問題について相互に議論を重ね、いくつかのプロジェクト案を策定しました。その 1 つが、学生ならではの視点を活かし、中心市街地の飲食店の魅力をアピールするためのマップを作成することでした。

まず、このプロジェクトの実現に向けてゼミ内でチームを結成しました。チームメンバーは、池沢みのり、石橋知也、小林奈々、武田佳音、林崎雪音、幕田健太郎、横須賀健伸（全て行政政策学類 4 年）の 7 名です。チーム内での検討とゼミでの議論を通じて、プロジェクトの内容を具体化し着実に実施してきました。

まず、福大生がおすすめしたいお店等を調べるために、調査票を独自に作成し、友人知人をたどって福大生 268 名から回答を得ました。その後、このアンケートをもとに、ゼミ生がカフェ、カレー、居酒屋といったジャンル別に 13 店舗を選定し、各店舗への現地調査を行いました。各店舗では、聞き取り、写真撮影、実際の食事などを学生が実施しました。その際、「新型コロナウイルス感染拡大防止のための学生行動ガイドライン」に沿って、感染症対策には十全を期しました。こうして集められたデータをもとに、デザイナーと具体的なマップの意匠に関する交渉を、学生が中心となって行いました。デザイナーとの交渉を何度も重ねることで意匠を確定させ、2月5日にマップは完成しました。

学生ならではの視点や工夫が種々施されたこのマップを、多くの方々に手に取っていただきたいと考えております。なお、本マップの作成は、福島商工会館寄附金による地域活性化活動助成事業の一環として実施されました。

（お問い合わせ先）

行政政策学類准教授 林嶺那

電話：024-548-8303

メール：reona@ads.fukushima-u.ac.jp